

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成28年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
低軌道衛星や気球を用いたデータ収集システムの 現地利用技術開発 (研究期間：H28年～H29年)	和歌山大学 教授 秋山 演亮	A
<p><研究概要></p> <p>近年急激な発展を遂げるICTやIoT技術を用いることにより、大規模土砂災害や洪水等の防災・減災が期待されている。しかし山間部においては極めて限定的で高価な通信回線しか使用することが出来ず、ICT/IoTの発展が不十分である。本研究ではwi-fi等を使った地上センサーネットワークで集約されたデータを低軌道衛星や小型気球等も併用することでインターネット網に送信、きめ細かい雨量等のデータ収集システムを実証する。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、衛星技術を十分に利活用したシステムにより、遠隔地への低コストで省電力なデータ通信手法を開発することで、新たな計測・通信システムを提案しており、今までに無い安価で省電力な大規模土砂災害等に対応した警戒システムへの応用が期待できる。</p> <p>今後は、従来手法とのデータの質的な比較、土砂災害を対象とした計測項目の提案、通信技術の信頼性向上、現実的な収集可能なデータ量などについて、実用化に向けた検討を進めていただきたい。</p>		